

普及活動情勢報告（令和2年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

J A 高知県 とさしショウガスマート農業協議会総会を開催 ～品質向上、安定生産に向けて～



スマート農業の取り組みについて説明する普及指導員

農業改良普及課は、ショウガの品質向上と安定生産に向けて、5月19日に戸波出荷場において、JA高知県とさしショウガ部会役員8名及びJA担当者、ドローン等を活用したスマート農業の今年度の取り組みについて検討しました。

生産者からは「ドローン空撮で異常株発見が実用化されたら助かる」、「実用化に向けては、現場でデータを収集する必要がある」などの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ショウガの品質向上、安定生産に向けた支援を行っていきます。

土佐市ズッキーニ部会個別巡回指導 ～秋冬期作型の反省と春期作型に向けて～



土作りについて話を聞く生産者

5月29日、JAの営農指導員と共に部会員を個別に巡回し、秋冬期作の栽培・出荷の反省や春期作の残り期間の栽培について、単価等の情報共有と栽培管理指導を行いました。

生産者からは「灌水の間隔を改める」、「来園芸年度のために、土作りについて話を聞きたい」等、これまでの栽培管理を振り返り、来園芸年度の栽培を考える声が聞かれました。

農業改良普及課では、今後も個別巡回や関係機関との情報共有等を通して、ズッキーニの生産安定に向けて支援していきます。

6次産業化セミナーアップグレードコースを受講 ～美味しい生姜焼きのたれが完成します～



「なぜ重さを量るのか」説明を受ける参加者

5月19日、男女共同参画センターソーレで開催された6次産業化セミナーアップグレードコースに、とさし旬物クラブ員2名が参加し、試作中の「生姜焼きのたれ」の商品化に向けて農業改良普及課も同席してブラッシュアップを行いました。

セミナーでは、ショウガのみじん切り具合でたれの粘度が変わること、煮立ったたれの泡を消す方法などプロの調理法を学ぶことができました。クラブ員からは「たれの品質を揃えるために、鍋ごとの重量を量ることに驚きました。」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も、セミナーでのアドバイスを活かしながら「生姜焼きのたれ」の商品化を支援します。

水稻栽培技術研修会の開催を支援 ～美味しい“岩戸米”のブランド価値向上を目指して～



説明資料をのぞき込む生産者

6月16日、土佐市岩戸公会堂で水稻栽培技術研修会が開催されました。岩戸地区水稻生産者15名に加えJA職員や農薬メーカーが参加し、「岩戸米」の品質向上やブランド価値向上に向けた活動について研修や意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今までの生育概況や病虫害発生状況、今後の管理について情報提供を行いました。会では、「本年の生育状況が米の品質に及ぼす影響」や「穂肥の時期と量」などについて意見交換や質疑が活発に行われました。

今後も関係機関と連携しながら「岩戸米」のブランド価値向上活動に対して支援を行っていきます。